

はじめに

田村装備開発「田村訓練塾」の開講について

最近の治安情勢は、国際化、情報化などの急激な進展の中で、公共の場所における無差別殺人事件、死傷者多数の特殊事件、人質立てこもり事件など市民生活を脅かす犯罪が頻発しております。加えて去年の東日本大震災や台風の巨大化、ゲリラ豪雨など従来予想できなかった自然災害も発生しております。

これらの突発的な事案に対し、私たちの安全な生活を確保するためにはどのような心構えが必要でしょうか。弊社「田村装備開発株式会社」では、平成20年から一般市民の皆さんや、危険な業務に従事されている方々のご要望にお応えして、安全・安心確保のための有益な装備、資器材の開発や弊社の付設訓練場で、

- ・ 資器材を活用した事故・災害などの非常時の安全確保方法
- ・ 不意の攻撃、加害に対する護身術
- ・ 銃器、刃物など危険な凶器の知識と安全な取扱い
- ・ 非常時における非難、誘導、サバイバルの知識

等の訓練・指導を提供してまいりました。また、事件の鎮圧や人命救助、災害復旧など極めて困難な業務に従事されている警察官、自衛官、消防官、海上保安庁などの方には、必要な訓練場所・施設・装備の提供や資機材の開発などの協力を行ってまいりました。

さて、弊社では、このたび平成25年4月から、受講される方が更に充実した訓練が出来ますように、現在の訓練場を拡充整備し、屋内大訓練場、講堂、術化道場を新たに設けると共に、宿泊設備の整った個室寮を付設し、リニューアルオープンする運びとなりました。

この施設は、受講される方が充実した技術を習得することは勿論、幅広い視野・教養と強固な精神修養にも役立ち、社会人として人間性の涵養にも役立てて戴けるものと自負しております。

そのため、これまでの技術指導訓練者による危機対応技術指導に加え、社会一般教養の専門家講師を招聘し、

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ※ 基礎体力の錬成・規律・礼式の基礎 | ※ 情報管理・労務管理 |
| ※ 社会倫理教養 | ※ 建築・建設知識 |
| ※ 基礎法令・歴史・経済学の基礎 | ※ 農園学を中心とした自然科学 |

などの一般教養課目をカリキュラムに取り入れました。

これは、旧制高等学校において素晴らしい教育効果があった寮生活での「切磋琢磨、共助・協力、連帯、意見交換」などを模範とし、これから社会を担う若者に、体力、技術に加えて社会人としての知識、教養を幅広く身に付けることが肝要であると考え、弊社の基本理念としたものであります。

また、弊社での講習・訓練は実際の事故、災害などを想定した模擬現場で実地訓練をするため、肉体的、精神的にも厳しい内容であります。各指導者の懇切丁寧な指導により、必ず皆様の生活や業務に役立つ技術や理論を修得できるものと考えております。そして訓練・講習を修了された方は、いかなる事案に遭遇しても冷静沈着に行動し、また、自信をもって厳しい現場で職務を遂行出来るものと確信しております。

どうか、平素から市民の皆様の生活安全確保の備えとして、また、各職域において警備業務など安全・安心の確保業務に尽力されている方のご活用をお願い致します。また、日夜厳しい現場で犯罪の鎮圧、人命救助、災害復旧に尽力されている警察官、自衛官、海上保安官、消防官の方々も、実地訓練場所や特殊技術レベルアップの場所として活用されます様お願い申し上げます。

田村装備開発 株式会社

代表取締役 社長 田村 忠嗣

ご家族の皆様へ

私たちは、『恕』の精神を最も大切なものと考えます。

ともすれば忘れがちな、先祖を敬う気持ち、親に孝養を尽くす気持ち、友や世間・故郷・国、それぞれを思い感謝する気持ちを、絶えず忘れることのない人間の育成のお手伝いができればと考えます。

自己の権利の主張は、当然認められるべきです。

しかし、近時の日本ではややもすれば、自己の権利の主張が前面に出すぎて、相手の立場を思いやることに欠ける、あるいは、義務の履行がやや疎かになりがちな面も多く見受けられます。

これは、私たち日本人が古来より育んできた「恥の文化」が忘れられつつあるせいかもしれません。

ただ、いくら『恕』の精神をもって行動しようとしても、基本になるものが備わっていなければ、掛け声倒れになって終いかねません。

そのためには、精神的にも、肉体的にも鍛え上げた上、知識や技能・教養や、しっかりとした価値観を身に付け、己に自信を持つ事が重要です。

知識・技能・体力はある程度の講習と訓練でなんとかなると思います。

しかし、私たちは、特殊技能を身に付けただけの人間の育成は決して目指しません。そこには、『恕』の心、すなわち、人を広い心で許し思いやる気持ちと、一切を包容して己を進歩向上させる精神の修養が是非にも必要と考えます。

私たちの厳しい訓練と規律ある寮生活を経験されれば、どのような職場でも引けを取らない忍耐力と人間性を身に付けることができるはずです。

私たちが目指すものは、第一に人間の修養であり、その後に自然と技能が付いてくると考えます。

そのような考えを基本とし、全寮制の中で受講生の皆さんが、互いを人生の師として自らの品格を更に高める為、私たちと共に切磋琢磨して頂けたらとも考えます。

寮生活の中での、凡その規則は私たちが作りますが、それ以外は寮生同士が話し合いの中で決めてほしいと考えています。

寮生には、原則一人1室での生活を予定していますが、複数人での寮生活の体験の時間も考えています。

近頃、若者の我慢不足による離職率の高さがよく指摘されます。自分の能力や理念と相いれない職場での転職であれば、できるだけ早く離職を考えるのは当然の事です。しかし、上司のちょっとした注意すら我慢できず退職してしまうのでは、あまりにも情けなさすぎます。当塾に入塾下されば、日々の厳しい訓練と規律正しい生活の中で、講師と皆さんが共に頑張り助け合う事により、どの様な職場でも通用する精神力と辛抱強さを兼ね備えた、品格ある紳士を育てられると自負しております。皆様の入塾を、心よりお待ちしております。

田村装備開発 株式会社

取締役 田村 憲道



田村装備開発 株式会社 代表取締役 社長

田村 忠嗣

経歴

元警察官

- ・警察本部 警備部 機動戦術部隊
- ・警察本部 警備部 警備課 突発重大事案対策班

実績

- ・警察学校 逮捕術大会 徒手 優勝
- ・機動隊 逮捕術大会 徒手 優勝
- ・機動隊 射撃競技会 上級の部 2 位

実務

- ・皇后陛下警衛警備
- ・原子力発電所警備
- ・パトリオットミサイル警備
- ・外国人犯罪組織 突入・検挙 他



田村装備開発 株式会社 訓練教育部 部長

長田 賢治

経歴

元陸上自衛隊員

- ・防衛庁長官直轄部隊 特殊作戦群（SOG）
- ※ 在籍当時の名称となります

実績

- ・部隊レンジャー訓練 首席卒業
- ・部隊レンジャー訓練 指導部 助教 2 回
- ・新隊員前期先任班長 1 回
- ・第 13 旅団格闘試験 徒手及び銃剣格闘 特級
- ・銃剣道 5 段

一般教養 特別講師



藤井 教公

北海道大学 名誉教授

<職歴>

就職年月日	退職(異動)年月日	機関名等
昭和 60 年 4 月	～ 9 年 3 月 31 日	財団法人大倉精神文化研究所研究員 (非常勤)
元年 4 月	～ 5 年 3 月 31 日	常葉学園浜松大学 (現・浜松大学) 経営情報学部助教授 (専任)
5 年 4 月	～ 8 年 3 月 31 日	同大学経営情報学部教授 (専任)
5 年 4 月	～ (現在に至る)	宗教法人 日蓮宗 身延別院住職
6 年 4 月	～ (現在に至る)	立正大学法華経文化研究所特別所員 (非常勤)
7 年 4 月	～ 8 年 3 月 31 日	東洋大学文学部印度哲学科 (非常勤)
8 年 4 月	～ 12 年 3 月 31 日	北海道大学文学部教授 (専任)
12 年 4 日	～ 24 年 3 月 31 日	北海道大学大学院文学研究科教授 大学院重点化措置 (専任)
12 年 4 月	～ (現在に至る)	立正大学日蓮教学研究所客員所員 (非常勤)
16 年 3 月	～ 16 年 3 月 31 日	フランス国立高等研究院 (EPHE) 招聘教授 (非常勤)
24 年 4 月	～ (現在に至る)	北海道大学名誉教授
24 年 4 月	～ (現在に至る)	国際仏教学大学院大学教授 (専任)
24 年 4 月	～ (現在に至る)	早稲田大学教育学部講師 (非常勤)
24 年 4 月	～ 25 年 3 月 31 日	東京大学文学部講師 (非常勤)

田村装備開発 顧問



齊藤 譲治

元埼玉県警察

- ・昭和 21 年 2 月 8 日生
- ・北海道浜頓別高等学校 卒業

＜年 月＞ ＜階 級＞
昭和 39 年 4 月 埼玉県警察官拝命

61 年 3 月 警 視

平成 12 年 3 月 警 視 正

16 年 10 月 警 視 長
17 年 3 月

17 年 4 月 独立行政法人
23 年 3 月

＜職 務＞

主な経歴

警察署 刑事課長、警察庁刑事局出向

在メキシコ日本大使館二等書記官（出向）

警察学校初任教養部長、警察本部警務課人事調査官

警察庁出向、警察本部 薬物対策室長、警察学校 副校長

秩父 警察署長、新座 警察署長、警察本部 警備部参事官

蕨 警察署長

警察本部 運転免許センター長

川 越 警察署長

警察本部 警備部長

警察本部 交通部長

埼玉県警察 定年退職

自動車安全運転センター 参事 兼 埼玉県事務所長

自動車安全運転センター 定年退職

◎特技・資格

- ・警備員指導教育責任者（1 号、2 号） ・外務省研修スペイン語 2 級
- ・剣道 5 段、柔道 3 段、空手道 3 段

◎趣味・嗜好

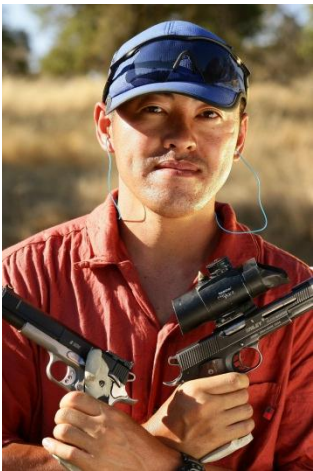
- ・読書 ・音楽鑑賞 ・家庭菜園 ・溪流釣り



伊藤 祐靖

元海上自衛隊 二等海佐
特別警備隊(SBU) 前任小隊長

- ・ 昭和 39 年生まれ
- ・ 日本体育大学卒業
- ・ 海上自衛隊入隊 (2 士)
- ・ 防大指導官
- ・ 「たちかぜ」砲術長等を歴任
- ・ イージス艦「みょうこう」航海長時に遭遇した能登沖不審船事件を契機に、自衛隊初の特殊部隊である特別警備隊の創隊に関わり、創隊以降 7 年間前任小隊長を務める。
- ・ 平成 19 年退職 (2 佐)
- ・ 拠点を海外に移し、各国の警察、軍隊などで訓練指導を行う。
- ・ 在任中の経験や退官後の生き様が小説『奪還』(麻生幾・著) 主人公のモデルとなった。



堺 達也

有限会社 プラスピー
社長

- Steel Challenge (米国 射撃競技大会)
- ・ 総合優勝 (World Speed Shooting Champion Ship)
 - ・ オープンサイト部門 優勝
 - ・ 22 口径ブルズアイサイドマッチ 優勝



本間 清

一級建築士 第 62774 号
一級建築施工管理技士 第 891100243 号



前田 敬一郎

公認会計士
前田公認会計士事務所 代表



橋 浩一

特定社会保険労務士
たちばな事務所 代表



田村 憲道

田村装備開発 株式会社
取締役



西内 聡雄

田村装備開発 訓練助教

TTC トレーニング 潜入・特級
TTC トレーニング 格闘・上級
TTC トレーニング 戦術・中級
柔道 3 段

不定期となりますが、各分野の専門家を招き、特別講習を実施致します。

コース案内

田村訓練塾は、全 4 コースとなります。
全てのコースは 4 月 10 日に始まり、卒業日まで一律同じ授業を受けて頂きます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1ヶ月コース	←→											
3ヶ月コース	←→→											
6ヵ月コース	←→→→											
1年コース	←→→→→											
	基礎講習期間		応用講習期間			実戦的講習期間						

1 ヶ月コース
入塾：4 月 10 日 ・ 卒塾 5 月 7 日
このクラスは、危機管理対応の基本、護身の基礎、災害時のロープによる脱出等、特殊技能の基礎的な知識・技術を練磨し、合わせて、公務員・その他として勤めていく上での最低限必要な心構えをお教えます。

3 ヶ月コース
入塾：4 月 10 日 ・ 卒塾 7 月 9 日
このクラスは、1 ヶ月コースの基礎的な知識を基に、応用と技能を深めた講習を行い、通常の生活では得られないレベルにまで危機管理対応力を向上させます。

6 ヲ月コース
入塾：4 月 10 日 ・ 卒塾 10 月 4 日
このクラスは、本人のやる気次第ですが、各官公庁省特殊部隊の選考に合格するレベルにまで育成するカリキュラムとなっております。（水泳・空挺技術等、各組織で異なる特殊技能は除く）
このクラスを卒業すれば、各組織の基礎課程において、拳銃・小銃・格闘・体力等の各種試験において、余裕をもって上位をとれるレベルにまで養成致します。プロを目指している方のための訓練コースとなります。

1 年コース
入塾：4 月 10 日 ・ 卒塾 3 月 22 日
このクラスは、特殊部隊員として現場臨場可能なレベルにまで、精神・知識・体力・技術を向上させます。部隊員に最も必要な怒の精神（優しさ・チームワーク）を徹底的に教え込んだ上で、弊社の各講師が持てる能力を可能な限り教授致します。特殊任務に就かれる精鋭部隊を目指す方の為のコースとなりますが、公務員に限らず、どのような職場でも通用する、一流の技術・品格・辛抱強さを備えた人材を養成致します。

※ 応募状況によっては、実施しないコースがある場合もございますのでご了承下さい。

訓練科目

講座名	科目	科目の内容
規律	教練	個人礼式の基本と集団行動
	作法	マナー教養
	着装	制服・靴等の手入れ ・ 着装
一般教養	倫理	倫理教養
	近代日本史	明治以降の日本史
	経済	経済状況
	園芸他	有機農法 ・ 日曜大工(サバイバル状況時の基礎知識) 他
	法律	刑法を主とした法律解釈
	体調管理	体調管理の方法
	情報業務プロセス	情報の発信・受信・行動(業務)の流れ
救命処置	応急救護	平時における救命処置
	危険地域における救護	危険地域における救命処置
	ロープレスキュー	ロープを使用した、高所からの救出
危険回避	危険回避 総論	危険回避・対応における基本原理
	LP(レスンプラン)	訓練プランの作成
	マインドセット	危険地域における思考状態、思考の切り替え
	犯罪心理	犯罪者の心理状況 ・ 交渉テクニック
	リスクコントロール	危機管理能力 (危険の推測・回避、又は、最小限に抑える手段)
	チームワーク	チーム員との意思疎通
	装備資器材	部隊、及び、現場に適した装備資器材の選定
	CQB	閉所における技能
	野外	野外における技能
	想定訓練	全ての能力を総合的に強化するシナリオトレーニング
降下・登攀	ロープ降下	ロープを使用した高所からの降下訓練
	人口登攀	資器材を使用した、高所への登攀
	ロープ結索	ロープ降下等における支点作り等、様々な結びの修得
	ロープ橋	高張度のロープを渡る訓練
	ファーストロープ	ファーストロープ降下
技術	武器の基礎知識	模擬武器を利用した基礎知識
	模擬射撃	模擬銃器の取り扱いと模擬射撃
	盾操法基礎	基礎的な盾の使用法
	盾操法応用	盾の使用法(応用)
	サバイバル	火起し、水の確保等サバイバル状況下での生存技術
	ランドナビゲーション	目標地点へ到達する為の各種テクニック
	スカウト・トラッキング	追跡・追尾
	偽装	迷彩効果の向上手段
	ディストラクション	思考の初期化
護身術	CVRNE	科学兵器・生物兵器・放射線・核・爆発物の知識
	身体操作	合理的で柔軟な身体の使用
	護身術	身を守るための技術
特別技能	CQC	閉所又は近接した状況下における護身術
	身辺警護	施設及び対人警護
	情報	情報収集の方法、及び、技術
	VEHICLE CHECK	車両検索 (ビーグルチェック)
	映像視聴訓練	練度判定訓練
夜間訓練	施設外教養	施設外にて実施する訓練
	ロウライト	低照明下における危険回避
	夜間降下・登攀	夜間におけるロープ降下、登攀
その他	夜間想定訓練	夜間における、想定訓練
	各種	その他各種訓練 ・ 特別講師訓練

※ 上記は基本課目のみとなります。その他、競技会・体力調整運動等を実施致します。

※ 体力調整運動につきましては、走力や筋力を鍛える運動となります。

体力に自信がない方も、段階的なトレーニングを実施致しますのでご安心下さい。

※ 記載されていない科目も実施予定です。

※ 特別講師訓練につきましては、不定期開催とさせていただきます。

授業単位

※ 一単位 2 時間 30 分（途中 小休憩有り）

講座名	科目	単位			
		1ヶ月コース	3ヶ月コース	6ヶ月コース	1年コース
規律	教練	2	6	8	12
	作法		2	3	4
	着 装	1	1	1	1
一般教養	倫理	1	3	5	10
	近代日本史		2	3	4
	経済		1	2	3
	園芸他		1	2	2
	法律		1	2	3
	体調管理	1	1	1	1
	情報業務プロセス	1	1	1	1
救命処置	応急救護		2	4	4
	危険地域における救護			2	4
	ロープレスキュー				2
危険回避	危険回避 総論	1	1	3	3
	LP(レスンプラン)			1	1
	マインドセット		1	2	2
	犯罪心理		1	3	3
	リスクコントロール		1	3	3
	チームワーク	1	3	6	10
	装備資器材			1	1
	CQB	5	12	16	40
	野外	2	4	12	20
	想定訓練	5	12	16	40
降下・登攀	ロープ降下	8	18	30	60
	人口登攀			2	4
	ロープ結索	1	2	2	2
	ロープ橋		2	2	4
	ファーストロープ		1	1	2
技術	武器の基礎知識	2	2	4	4
	模擬射撃	1	6	12	18
	盾操法基礎			3	3
	盾操法応用				4
	サバイバル			6	8
	ランドナビゲーション		4	4	8
	スカウト・トラッキング			2	8
	偽装		1	2	2
	ディストラクション				2
	CVRNE			1	4
護身術	身体操作	1	2	6	12
	護身術	3	10	26	38
	CQC		1	2	22
特別技能	身辺警護				6
	情報				12
	VEHICLE CHECK				4
	映像視聴訓練	1	2	3	4
	施設外教養		2	4	6
夜間訓練	ロウライ		1	2	4
	夜間降下・登攀	1	2	3	6
	夜間想定訓練	1	2	4	6
流動訓練	その他訓練		6	12	24
団 結	塾生による規則提起	1	2	3	4
競技会	サーキットマッチ	2	6	12	24
社会貢献	ボランティア活動	1	3	6	12
その他	環境美化・生活環境整備	1	3	6	12
	入塾 ・ 卒塾式	2	3	4	5
単位合計（夜間訓練・体力調整運動・自習を除く）		44	132	252	492

※ 塾生の習熟度や、特別講師訓練等の関係で、授業内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

時間割表 (天候・TTC 訓練日・祝日等の関係で、日程を変更する場合がございます)

※ 訓練日 : 水曜日～金曜日

7:00～ 7:30	清掃
7:30～ 8:15	朝食
8:15～ 9:00	自習
9:00～ 9:30	休息・訓練準備
9:30～12:00	訓練 (訓練前に国旗敬礼)
12:00～13:30	昼食・休憩
13:30～16:00	訓練
16:00～16:30	施設清掃
16:30～17:00	休憩・運動準備
17:00～17:30	体力調整運動
17:30～18:00	休憩
18:00～19:00	夕食
19:00～21:00	自由時間 (風呂)・(外出許可)
21:00～22:00	自習 (外出禁止)
22:00～ 6:00	就寝時間 (外出禁止)

※ TTC 訓練日 : 土曜日～日曜日・祝日

7:00～ 7:30	寮清掃
7:30～ 8:15	朝食
8:15～ 8:45	休憩
8:45～	訓練 (別途指示)

※ TTC 訓練・・・弊社が『Tamura Training Center』で土日祝日に行っている訓練です。

※ TTC 訓練日につきましては、塾生も他の受講生と一緒に訓練をして頂きます。

※ 自習日 : 第2・第4火曜日

9:30～12:00	自習 (就職対策)
13:30～16:00	自習 (就職対策)

不定期となりますが、特別講師を招いた試験対策、及び、講話を実施予定です。

- ※ 休暇日 :
- 1 毎週月曜日
 - 2 第1・第3火曜日
 - 3 夏季休暇 : 8月11日～15日
 - 4 冬季休暇 : 12月29日～1月3日

1ヶ月コース	合計金額	補足
学 費	¥176,000	訓練日数 22 日間（入塾日・卒塾日含む）
食 費	¥33,000	22 日間（訓練日のみ）（1 日 3 食 1,500 円）
寮 費	¥15,000	光熱費込み（電気代 5,000 円以内）
訓練用品	¥43,000	制服等、訓練に必要な用品
お支払合計金額	¥267,000	税込

3ヶ月コース	合計金額	補足
学 費	¥377,000	訓練日数 66 日間（入塾日・卒塾日含む）
食 費	¥99,000	66 日間（訓練日のみ）
寮 費	¥45,000	光熱費込み（電気代 15,000 円以内）
訓練用品	¥43,000	制服等、訓練に必要な用品
お支払合計金額	¥564,000	税込

6ヶ月コース	合計金額	補足
学 費	¥520,000	訓練日数 126 日間（入塾日・卒塾日含む）
食 費	¥189,000	126 日間（訓練日のみ）
寮 費	¥90,000	光熱費込み（電気代 30,000 円以内）
訓練用品	¥43,000	制服等、訓練に必要な用品
お支払合計金額	¥842,000	税込

1年コース	合計金額	補足
学 費	¥799,500	訓練日数 246 日間（入塾日・卒塾日含む）
食 費	¥369,000	246 日間（訓練日のみ）
寮 費	¥180,000	光熱費込み（電気代 60,000 円以内）
訓練用品	¥43,000	制服等、訓練に必要な用品
お支払合計金額	¥1,391,500	税込

※ 食事につきましては、訓練日以外でもご注文頂けます。（1 日 3 食 1,500 円）

訓練用品 内訳 （卒業時にお持ち帰り頂けます）

制服・・・・・・・・	28,000 円	塾生が着用する、制服 兼 訓練服
ベルト・・・・・・・・	7,000 円	制服に合わせて着装するベルト
帽子・・・・・・・・	4,000 円	制服に合わせて着装する帽子
パッチ・・・・・・・・	2,500 円	制服に合わせて着装する刺繍パッチ
BB弾・ガス・・・・・	1,500 円	訓練に使用する消耗品
合計金額 43,000 円（税込）		

※ BB弾・ガスにつきましては消耗品となります。

消費した際は、『追加購入』又は『ご自分で用意』して頂きます。

受講料のお支払について

コース	お支払合計金額	お支払方法	お支払金額	お支払期限
1ヶ月コース	¥267,000	一括	¥267,000	2013年3月20日
3ヶ月コース	¥564,000	一括	¥564,000	2013年3月20日
6ヶ月コース	¥842,000	一括	¥842,000	2013年3月20日
		分割 1回目	¥500,000	2013年3月20日
		分割 2回目	¥342,000	2013年6月20日
1年コース	¥1,391,500	一括	¥1,391,500	2013年3月20日
		分割 1回目	¥600,000	2013年3月20日
		分割 2回目	¥200,000	2013年6月20日
		分割 3回目	¥350,000	2013年9月20日
		分割 4回目	¥241,500	2013年12月20日

※ 別途、希望支払いのある方はご相談ください。

受講料の返還 (途中退塾された場合の返金)

コース	退塾日	返金額
1ヶ月コース		無
3ヶ月コース	5月9日以前	¥173,666
	5月10日以降	無
6ヶ月コース	6月9日以前	¥266,333
	6月10日以降～7月9日以前	¥133,166
	7月10日以降	無
1年コース	7月9日以前	¥449,500
	7月10日以降～8月9日以前	¥337,125
	8月10日以降～9月9日以前	¥224,750
	9月10日以降～10月9日以前	¥112,375
	10月10日以降	無

注 1

全コース、受講料を満額お支払済の方へのみ適用されます。

注 2

受講生の重大な過失・規則違反により退塾処分となった場合、全コースにおいて返金致しません。

祝い金制度

1 年コースの塾生に限り『警察』『自衛隊』『海上保安庁』『厚生労働省』の何れかに就職された場合、卒塾時に 10 万円の就職祝い金を差し上げます。

※ 注 1 TTC 訓練塾の受講期間中に限定します。

※ 注 2 途中退塾した場合は対象外となります。

ただし、就職時期の関係で途中退塾される場合は、満額ではありませんが、祝い金を差し上げます。

受講資格

- ・ 18 歳以上 (未成年の方は、親権者の同意書が必要です)
- ・ 高等学校卒業 又は それと同等の学力
- ・ 身体・精神に障害が無く、健康な方

面接の実施

弊社の教育は、技術、体力、及び倫理教育を基礎としております。

そのため、面接により入塾の制限をさせていただきますので予めご了承ください。

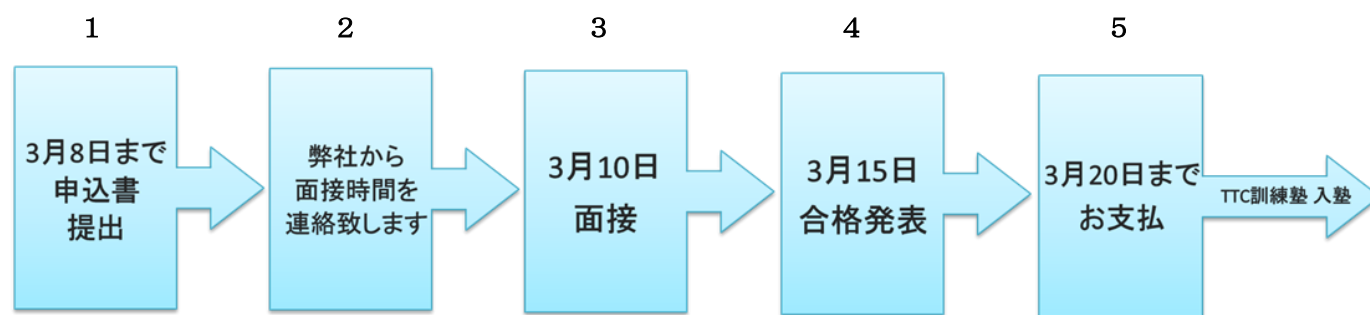
面接日

平成 25 年 3 月 10 日 【面接の時間につきましては、申込書を提出された方へご連絡致します】

面接場所・・・〒355-0008 埼玉県東松山市大谷 4453 田村装備開発(株)本社屋

※ 他の面接日を希望される方は、入塾申込書の『面接日』の欄にご記入下さい。

入塾までの流れ



1 申込書の提出

締切日 平成 25 年 3 月 8 日（金曜日）（必着）

提出先 〒355-0008 埼玉県東松山市大谷 4145-53 田村装備開発（株）TTC 0493-36-1255

2 面接時間

申込書受領後、弊社から面接時間をご連絡致します。

3 面接 平成 25 年 3 月 10 日（日曜日）埼玉県東松山市大谷 4453 田村装備開発（株）本社屋

筆記用具をお持ちください。

4 合格発表 平成 25 年 3 月 15 日（金曜日）

通知書を発送致します。メールアドレスをお持ちの方には、メール通知致します。

5 講習料金のお支払期限 平成 25 年 3 月 20 日（水曜日）

6 入塾

規則順守に関わる誓約書へ、署名・押印して頂きます。

初日（4 月 10 日）に施設案内と各自寮の整理整頓を行い、4 月 11 日より授業開始となります。

コースの移行（延長）について

ご希望の際は、コースを延長する事が可能です。

一回の移行につき、更新料として 3 万円頂戴いたします。

例（更新料）

- ・ 1 ヶ月コース → 3 ヶ月コース … 移行 1 回 更新料金 3 万円
- ・ 1 ヶ月コース → 3 ヶ月コース → 6 ヶ月コース → 1 年コース … 移行 4 回 更新料金 12 万円
- ・ 1 ヶ月コース → 1 年コース … 移行 1 回 更新料金 3 万円
- ・ 3 ヶ月コース → 6 ヶ月コース → 1 年コース … 移行 3 回 更新料金 9 万円

例（支払額）

- ・ 1 ヶ月コースから 3 ヶ月コースへ移行された場合
追加でお支払頂く金額は、284,000 円となります。

564,000 円（3 ヶ月） - 267,000 円（1 ヶ月） - 43,000 円（訓練用品代） + 30,000 円（更新料） = 284,000 円

入塾の際の携行品

- 1 紳士靴 ・ スーツ ・ ワイシャツ ・ ネクタイ
- 2 健康保険証 ・ 印鑑（三文判）
- 3 各季節用の衣類
- 4 訓練用衣類（黒色）・・・インナー ・ グローブ ・ ブーツ ・ 靴下
- 5 運動用衣類・・・ジャージ ・ インナー ・ 靴下 ・ スポーツシューズ
- 6 靴墨 ・ 靴ブラシ ・ 雑巾
- 7 ノート ・ メモ帳 ・ 筆記用具 ・
- 8 日用品（洗濯洗剤・石鹸・歯ブラシ・シャンプー・箸・コップ・タオル・下着・寝間着等）
- 9 寝具（枕・シーツ）
- 10 アイロン ・ アイロン台
- 11 その他、本人が必要とする物

持ち込み禁止物品

- 1 武器・ナイフ等の刃物・銃刀法に抵触する物・その他違法品
- 2 ボイスレコーダー、ビデオカメラ等の音声・映像を記録する機器
- 3 その他、専任講師が禁止した物品

清明寮（塾生寮） 設備

5 畳 ： ベッド・エアコンが備え付けてあります。

共用 ： 浴室 ・ トイレ ・ 洗濯機 ・ 流し台

卒塾後について

- 1 修了証書・徽章の授与

各コース、卒塾日に修了証書と徽章を授与致します。

※ 徽章の形状・カラーにつきましては予定となります。



- 2 TTC トレーニングの割引

各コースを終了された方へ、練度の維持・向上のため、TTC 訓練（主に土日祝日開催）の特別割引を適用させていただきます。

訓練参加時には、**卒塾時に授与される徽章**をお持ちください。

- ・ 一年コース・・・受講料 半額
- ・ 6 ヶ月コース・・・受講料 30% OFF
- ・ 3 ヶ月コース・・・受講料 20% OFF
- ・ 1 ヶ月コース・・・受講料 10% OFF

※ 平日訓練には適用されません ※ その他の割引と併用できません

- 3 塾生懇親会

平成 26 年度以降、毎年 1 回、田村装備開発本部にてゲストを招いた塾生懇親会を行います。

卒塾された方には招待状を送らせて頂きますので、再開の場、出会いの場としてご活用頂ければ幸いです。

卒塾生同士の親睦を深め、また情報交換の場としてご活用頂けるよう、良い会にしたいと思っております。

田村装備開発 本部 TTGD (Tamura Tactical Gear Development)



〒355-0008 埼玉県東松山市大谷 4453

TEL 0493-36-1255

FAX 0493-36-1256

本社屋・・・店舗・事務所・教室

土地・・・約 5,500 平方メートル

第一清明寮・・・・寮

第二清明寮・・・・寮

本部第一訓練所・・・多目的訓練所

本部第二訓練所・・・CQB 訓練所

本部第三訓練所・・・強化テント



約 1,600 坪の敷地に、本社屋、塾生寮、道場、訓練所を設けております。

受講生は、本部敷地内の寮で生活をしながら、各科目を受講して頂きます。

本社屋 2 階は教室となっており、座学を中心に行います。

1 階には弊社店舗を設けておりますので、必要な訓練用品があればご購入頂けます。

本部第一訓練所は、重機クレーンが設置してあり、ロープ橋、その他特殊訓練が可能となっております。

本部第二訓練所は、強化テントが設置してあり、雨天でも CQB・その他訓練が行えます。

本部第三訓練所は、護身術・その他訓練を行う施設となります。

特殊訓練施設 TTC (Tamura Training Center)

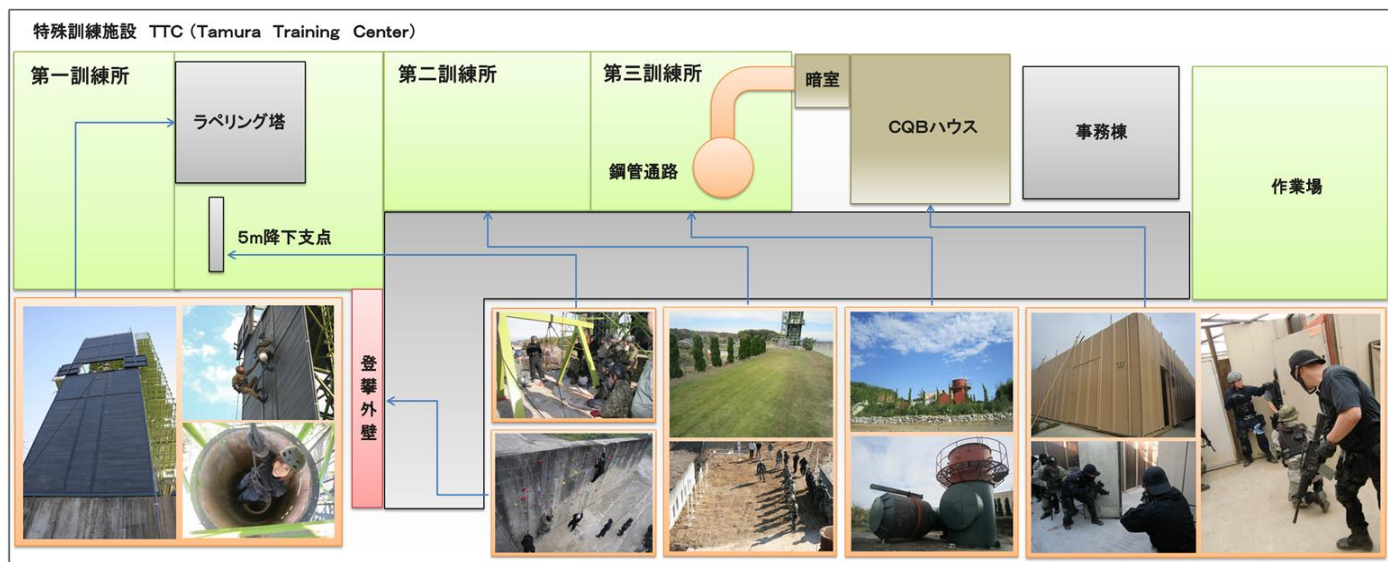


〒355-0008

埼玉県東松山市大谷 4145-53

事務棟・・・棟約 100 平方メートル
 休息・シャワールーム他
 土地・・・約 3,300 平方メートル

第一訓練所・・・ラペリング塔
 第二訓練所・・・芝生 多目的訓練所
 第三訓練所・・・狭所訓練所
 暗室・・・暗所訓練所
 CQB ハウス・・・閉所近接戦闘訓練所
 登攀外壁・・・ボルダリング
 作業場・・・各種製作場



約 1,000 坪の敷地に、ラペリング塔、CQB ハウス、その他訓練所を設けております。

第一訓練所は、ロープ降下・人口登攀・ファーストロープ等の訓練を行います。

第二訓練所は、芝生が敷き詰められており、格闘、その他、多目的訓練所として使用致します。

第三訓練所は、暗室へ繋がる鋼管通路が設置してあり、狭所訓練に使用致します。

暗室は、ロウライト（低照明下）訓練に使用致します。

CQB ハウスは、閉所近接戦闘の訓練を主に行います。

事務棟には、休憩室、トイレ、シャワールーム、台所を完備しております。

作業場は、サバイバル訓練や各種製作の場として使用致します。

見学

見学をご希望の方は、弊社までメールにてお問い合わせ下さい。

※ ご予約が無い場合、見学できない場合がございます。ご了承下さい。

※ 本部の見学につきましては、平成 25 年 2 月 15 日以降に開始致します。

TTC 訓練紹介



弊社では、土日祝日を主に、TTC（Tamura Training Center）トレーニングを開催しております。

田村訓練塾と同様に、代表取締役の田村と、訓練教育部長の長田が講師を担当致します。

内容につきましては、模擬銃器を使用したチーム行動、ロープ降下訓練、護身術等の基礎訓練に加え、野外訓練やコンバットメディック、ロウライト訓練等、数多くの課目を実施しております。

一部の訓練を除き、健康な方であれば、性別、体力を問わず、どなたでもご参加頂けます。

田村訓練塾をご検討されている方は、是非一度ご参加頂ければ幸いです。

訓練内容・日程につきましては、弊社HPをご覧ください。

HP www.tamurasoubi.co.jp

訓練のお申し込みは、HP・Email・お電話の何れかからお願い致します。

Email shop@tamurasoubi.com

TEL 0493-36-1255